

はじめに 計画策定の意義 / 計画期間 / 計画区域 / 隣接県との関係

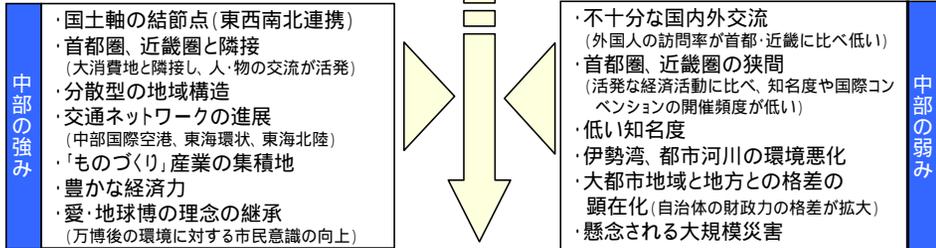
第1部 計画の基本的考え方(案)

第1章 中部圏を取り巻く情勢と課題

日本の潮流

人口減少、少子高齢化の進展 / 大規模災害等への不安 / 地域格差、所得格差の増大 / 環境意識の向上、環境負荷低減への取組 / 若年層の就業問題、高齢者の雇用問題 / ライフスタイル、価値観の多様化 / 多様な主体の増加 / 既存ストックの老朽化

日本の「まんなか」である中部



第2章 中部圏の目指すべき姿

第1節 ~ 中部圏の将来像 ~

日本の「まんなか」から世界の「まんなか」へ

ものづくりを基軸とした産業の持続的発展を通じ、「都市力・地域力の向上」を図る。

第2節 中部圏の発展目標と発展戦略

(2) 中部圏の発展目標と発展戦略

(1) 視点、留意点

	[発展目標]	[発展戦略]
交流・連携	賑わい溢れる圏域	・国内外交流の拡大 東アジアとの連携強化 / 国際観光、産業観光の活性化 ・大都市地域の機能強化 ・地方都市の連携強化 ・中山間地域の持続的発展
活力	競争力を持続する圏域	・産業基盤の強化 シームレスな交通ネットワークの形成 / 水・電力等の安定供給 / 高度情報インフラの整備 ・新しいものづくり産業の創出・誘致 産官学連携の強化 / 産業クラスターの形成 / 環境配慮型産業への進化 ・地域産業、農林水産業の持続的発展
環境	持続可能な環境圏域	・自然環境の保全・形成・継承 ・産学官民一体による環境都市圏づくり 3R等による循環型社会の構築 / 省エネルギーの推進
暮らし	豊かさを享受できる圏域	・生き生き暮らせる地域社会の実現 ・多様な主体による地域づくりの推進
安全・安心	災害に強く、安心して暮らせる圏域	・リダンダンシーの確保 ダブルネットワークの形成 / 災害発生時のバックアップ機能強化 ・防災対策の推進 ・安全・安心な生活環境の実現

- まんなか
- 中枢性、拠点性向上
 - 持続性
 - 持続可能な発展
計画のモニタリング含む
 - 効率性
 - 選択と集中
 - 戦略性
 - 潮流の活用
「新たな公」等

第2部 将来像実現に向けた計画の基本方針

第1章 中部の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大

- 第1節 世界に魅力を発信できる国際交流圏づくり
- 第2節 地域の連携による広域交流圏づくり
- 第3節 中部圏の産業・歴史・文化・自然を活かした観光交流の促進
- 第4節 中部圏の地域経済を牽引する拠点都市等の都市力向上
- 第5節 地域特性を生かした地方都市・中山間地域等の地域力向上

第2章 世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化

- 第1節 ものづくり産業の国際競争力を支える産業基盤の強化
- 第2節 ものづくり産業のイノベーションを支える科学技術連鎖の促進
- 第3節 地域を支える産業の活性化、持続的発展
- 第4節 農林水産業の活性化、持続的発展

第3章 持続可能な環境共生社会を実現する環境圏域の形成

- 第1節 豊かで多様な自然環境を保全・再生・利用できる圏域づくり
- 第2節 産学官民一体による環境負荷の低減、循環型社会構築への取組

第4章 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現

- 第1節 暮らしやすさを実感できる生活環境の向上
- 第2節 多様な主体による地域づくりの推進・コミュニティの再生

第5章 災害に強い安全・安心な地域づくり

- 第1節 大規模災害に対する防災力の強化
- 第2節 災害による被害を最小限に抑える適切な国土管理の推進
- 第3節 災害発生時における危機管理体制の構築

第3部 広域連携プロジェクト

第1章 広域連携プロジェクトの意義

第2章 今後の広域連携プロジェクト

- (1) 北陸圏との連携プロジェクト
- (2) 隣接圏域との連携プロジェクト

第4部 計画の効果的な推進に向けて

第1章 多様な主体の参加と協働による計画の推進

第2章 投資の効率化・重点化

第3章 計画のモニタリング

将来像の実現

交流・連携

活力

環境

暮らし

安全・安心

プロジェクト

計画の推進

時代の潮流

中部の現状

将来像

中部圏の発展目標・発展戦略